

# EV 熱マネージメントシステムの 各社各様の開発戦略 2026

～TOYOTA、TESLA、VW、TATA、HYUNDAI、BYD を比較～

—講師—

Y4ATEC 熱マネコンサルタント 山本 祐司 氏

日時 2026年6月3日(水) 午後1時～3時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

EV の熱マネージメントシステム(TMS)は、新しい技術分野であり各方面で進化の模索中。今回2026年現在の最新状況をアップデートする。

TMS 対象の3サブシステムは、冷却が必要なモータやインバータ等のパワートレイン冷却システム(PCS)、冷却と加熱が必要なバッテリー熱マネージメントシステム(BTMS)、及び空調システム(ACS)。このTMSの統合アーキテクチャが鍵で、電力消費効率とコストの改善、環境やEV進化への対応が主課題。

そこで、TOYOTA、TESLA、VW、TATA、HYUNDAI、BYD、最適化案(EVTTMS)の例を用いて各社各様TMSを比較評価し、現状を解説する。更に、TMSと構成要素の2026年現在の動向と課題をまとめて示す。専門外の方の概容理解と専門家の方への議論提起を目標とする。

1. EV 熱マネージメントシステム(TMS)とは？
2. TMS の進化と現状
3. TMS の比較評価法
4. TMS の評価例(TOYOTA、TESLA、VW、TATA、HYUNDAI、BYD)
5. TMS の動向と課題
6. TMS の構成要素の動向と課題
7. 質疑応答／名刺交換

## PROFILE 山本 祐司(やまもと ゆうじ)氏

1955年生まれ。兵庫県出身。1979年神戸大学機械工学科卒。同年昭和アルミニウム株式会社に入社(同社は、昭和電工に吸収後、現在は Resonac と Mahle の一部を構成している)。自動車用エアコンシステム、エンジンクーリングシステムの熱交換器開発担当技術者・責任者として従事。その後、同分野のシステム開発を目指し1998年フランス Valeo(ヴァレオ)に入社。同分野の熱交換器や圧縮機等の開発部門の Director として R134a / R1234yf / CO2 エアコンシステム、EV 熱マネージメントシステム主要部品の開発を主導。2013年以降は、インド・中国の企業や OEM で EV 熱マネやエアコンシステムと主要部品の開発指導に従事。フランス(5年)、インド(7年)、中国(1年)、合計13年間の海外現地企業勤務を経て2021年より日本で Y4ATEC - 熱マネコンサルタントとして活動中。インド、ドイツ、中国、日本、フランス等の顧客に対し個人事業主として対応、現在に至る。

